



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月3日

上場会社名 高千穂交易株式会社
コード番号 2676 URL <http://www.takachiho-kk.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井出 尊信
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理・業務担当 (氏名) 植松 昌澄

TEL 03-3355-1111

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,208	12.0	2	96.6	24	79.7	20	
2020年3月期第1四半期	4,782	20.1	81		118		114	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 80百万円 (13.6%) 2020年3月期第1四半期 92百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	2.34	
2020年3月期第1四半期	12.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	18,310	13,559	74.0	1,521.27
2020年3月期	18,556	13,584	73.2	1,524.28

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 13,548百万円 2020年3月期 13,574百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		12.00		12.00	24.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		12.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、安定配当額(年間24円)を下限として、連結配当性向40%以上とすることを配当方針としております。この方針に従い、現時点で配当額は未定ですが、2021年3月期配当については、第2四半期末の配当金を12円、期末配当金は年間配当額を連結配当性向40%以上にて実施する予定としております。よって、期末配当金および年間配当金の記載を「-」と表記しております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症が国内外で拡大している影響による国内外の事業環境が不透明であり、現段階では合理的な業績予想の算出が困難であるため、未定とさせていただきます。今後、業績への影響を慎重に見極め、合理的な予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	10,171,800 株	2020年3月期	10,171,800 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,266,058 株	2020年3月期	1,266,058 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	8,905,742 株	2020年3月期1Q	8,905,764 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあります。先行きについては、当面感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種経済対策の効果などにより、持ち直しに向かうことが期待されます。しかしながら、国内外の感染症の動向や通商問題が株式市場や為替市場に与える影響など、海外情勢について留意する必要があります。

当社グループの市場環境は引き続き競争激化の状況にありますが、新たな成長を見据え付加価値による競争力強化と収益力向上及びグローバルビジネス拡大や新規ビジネスによる収益基盤の創出を図っております。

具体的には、システムセグメントでは、主要商品である商品監視システムや入退室管理システムの付加価値強化、クラウド型無線LANやテレワークに関連したリモートアクセス商品の販売強化、RFIDシステム、省人化システムなどのリテールソリューション等の新たな市場開拓、またタイ及びASEAN諸国において展開する高度防火システム事業の拡大を図っております。

他方、デバイスセグメントでは、電子事業においては主に通信インフラ市場やオートモティブ市場への拡販、また産機事業では従来のATM向け機構部品に加え、北米、ASEAN諸国、中国への住宅設備向け機構部品の販売、国内外における自動車内装部品市場の開拓などに注力しております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、国内外の小売業や製造業及び建設業など、当社が注力する市場の減退に加え、一部製品の調達や移動制限に伴って営業活動に支障が出ている状況となっており、前年同期比12.0%減の42億08百万円に留まりました。

損益につきましては、上記理由により、営業利益は前年同期比96.6%減の2百万円、経常利益は前年同期比79.7%減の24百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期と比較して1億35百万円減少し、20百万円の損失となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(システムセグメント)

システムセグメントの売上高は、前年同期比17.9%減の24億30百万円、営業利益は前年同期と比べ80百万円減少し、52百万円の損失となりました。

リテールソリューション商品類では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う小売業休業などの影響を受けて商品監視システムの販売が伸び悩んだことなどから、売上高は前年同期比14.8%減の7億43百万円となりました。

オフィスソリューション商品類は、テレワーク需要の高まりによりリモートアクセス商品の販売が好調に推移したものの入退室管理システムの販売が減少したことなどにより、売上高は前年同期比17.3%減の6億74百万円となりました。

グローバル商品類は、タイの高度防火システムの売上が原油価格の低迷や新型コロナウイルス感染症の影響で新規プラント建設が停滞したことなどから減速し、売上高は前年同期比28.3%減の5億55百万円となりました。

サービス&サポート商品類は、売上高は前年同期比8.0%減の4億56百万円となりました。

(デバイスセグメント)

デバイスセグメントの売上高は、前年同期比2.5%減の17億77百万円、営業利益は前年同期比3.9%増の55百万円となりました。

電子商品類では、テレワーク需要の高まりにより通信機器やパソコン向け電子部品の販売が好調に推移したことなどから、売上高は前年同期比2.2%増の9億15百万円となりました。

産機商品類では、複写機やオフィスファニチャ市場への機構部品の販売が減速したことなどにより、売上高は前年同期比7.1%減の8億62百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ2億46百万円減少し、183億10百万円となりました。これは商品及び製品が4億29百万円、投資有価証券が3億16百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が10億30百万円減少したことなどによるものです。

他方、負債は、前連結会計年度末と比べ2億21百万円減少し、47億50百万円となりました。これは未払金が2億17百万円増加した一方で、未払法人税等が2億29百万円、支払手形及び買掛金が2億8百万円減少したことなどによるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ25百万円減少し、135億59百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失20百万円や配当金の支払1億6百万円などにより、利益剰余金が1億27百万円減少したことなどによるものです。自己資本比率は前連結会計年度末から0.8ポイント上昇し、74.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症が国内外で拡大している影響により国内外の事業環境が不透明であり、現段階では合理的な業績予想の算出が困難であるため、未定とさせていただきます。今後、業績への影響を慎重に見極め、合理的な予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,199	5,715
受取手形及び売掛金	6,720	5,689
商品及び製品	2,597	3,027
原材料	108	140
未収還付法人税等	—	73
その他	732	849
貸倒引当金	△122	△127
流動資産合計	16,236	15,368
固定資産		
有形固定資産	299	623
無形固定資産	147	210
投資その他の資産		
投資有価証券	925	1,242
その他	947	865
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,872	2,107
固定資産合計	2,319	2,941
資産合計	18,556	18,310

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,591	2,383
未払法人税等	241	12
賞与引当金	235	113
役員賞与引当金	1	1
本社移転費用引当金	82	61
その他	1,021	1,370
流動負債合計	4,174	3,942
固定負債		
長期未払金	35	51
退職給付に係る負債	729	722
その他	31	34
固定負債合計	797	808
負債合計	4,971	4,750
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,209	1,209
資本剰余金	1,172	1,172
利益剰余金	12,388	12,260
自己株式	△1,231	△1,231
株主資本合計	13,537	13,410
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	204	216
為替換算調整勘定	△165	△78
退職給付に係る調整累計額	△2	△0
その他の包括利益累計額合計	36	137
新株予約権	9	11
非支配株主持分	0	0
純資産合計	13,584	13,559
負債純資産合計	18,556	18,310

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,782	4,208
売上原価	3,637	3,186
売上総利益	1,145	1,022
販売費及び一般管理費	1,063	1,019
営業利益	81	2
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	12	8
為替差益	2	2
受取保険金	18	4
助成金収入	—	3
持分法による投資利益	1	—
その他	3	3
営業外収益合計	38	22
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	—	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	1
経常利益	118	24
特別利益		
投資有価証券売却益	67	—
新株予約権戻入益	0	0
特別利益合計	67	0
特別損失		
固定資産除却損	—	3
特別損失合計	—	3
税金等調整前四半期純利益	186	20
法人税、住民税及び事業税	43	2
法人税等調整額	29	39
法人税等合計	72	41
四半期純利益又は四半期純損失(△)	114	△20
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	114	△20

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	114	△20
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	12
為替換算調整勘定	7	86
退職給付に係る調整額	1	1
その他の包括利益合計	△21	100
四半期包括利益	92	80
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92	80

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システム	デバイス	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高					
外部顧客への売上高	2,958	1,823	4,782	—	4,782
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,958	1,823	4,782	—	4,782
セグメント利益	28	53	81	—	81

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システム	デバイス	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高					
外部顧客への売上高	2,430	1,777	4,208	—	4,208
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,430	1,777	4,208	—	4,208
セグメント利益又は損失(△)	△52	55	2	—	2

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

販売実績

(単位：百万円)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
リテールソリューション商品類	872	743
オフィスソリューション商品類	815	674
グローバル商品類	774	555
サービス&サポート商品類	495	456
システム 計	2,958	2,430
電子商品類	895	915
産機商品類	927	862
デバイス 計	1,823	1,777
計	4,782	4,208